

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2019-168675 (P2019-168675A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2019-28560 (P2019-28560)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 1 5

B 3 2 B 27/30 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 8 日 (2020.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、

表面層としての離型層と、を有する電子写真用の定着部材であって、

該離型層は、

第 1 のフッ素樹脂及び第 2 のフッ素樹脂を含み、

該第 1 のフッ素樹脂は、パーフルオロポリエーテル (PFPE) であり、

該第 2 のフッ素樹脂は、テトラフルオロエチレン - パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体 (PFA)、及び、テトラフルオロエチレン - ヘキサフルオロプロピレン共重合体 (FEP) から選ばれる少なくとも一方であり、

PFPE 単体の、温度 200 で測定される ^{19}F -NMR から求めた、PFPE 単体の縦緩和時間を $T1 - 1$ とし、

該離型層の、温度 200 で測定される ^{19}F -NMR から求めた、該離型層中に含まれる PFPE の縦緩和時間を $T1 - 2$ としたとき、 $T1 - 1$ 及び $T1 - 2$ が下記式 (1) で示す関係を満たすことを特徴とする定着部材：

式 (1)

$$[(T1 - 1) - (T1 - 2)] / (T1 - 1) \geq 0.1$$

。

【請求項 2】

前記縦緩和時間 $T1 - 2$ が、0.5 秒以上 3.5 秒以下である請求項 1 に記載の定着部材。

【請求項 3】

前記縦緩和時間 $T1 - 2$ が、0.5 秒以上 2.0 秒以下である請求項 1 または 2 に記載の定着部材。

【請求項 4】

該離型層が、前記第 1 のフッ素樹脂及び前記第 2 のフッ素樹脂の合計量に対し、該第 1 のフッ素樹脂を 1 質量%以上 30 質量%以下の割合で含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の定着部材。

【請求項 5】

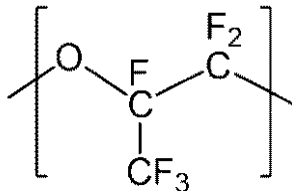
該離型層が、前記第 1 のフッ素樹脂及び前記第 2 のフッ素樹脂の合計量に対し、該第 1 のフッ素樹脂を 3 質量 % 以上 20 質量 % 以下の割合で含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の定着部材。

【請求項 6】

前記パーフルオロポリエーテルが、下記構造式 (1) 及び (2) で示される構造から選ばれる少なくとも 1 つの構造を有する請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の定着部材：

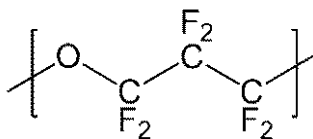
【化 1】

構造式(1)



【化 2】

構造式(2)



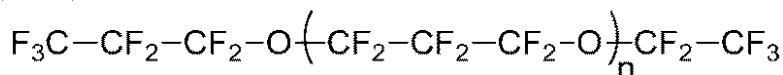
。

【請求項 7】

前記パーフルオロポリエーテルが、下記構造式 (3) ~ (5) で示される構造から選ばれる少なくとも 1 つの構造を有する請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の定着部材：

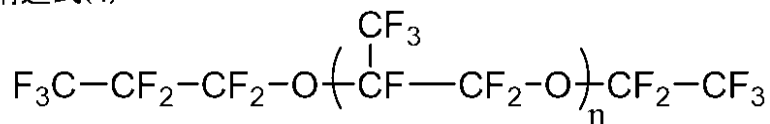
【化 3】

構造式(3)



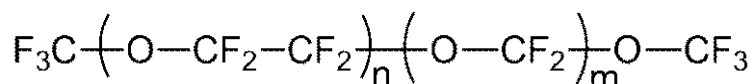
【化 4】

構造式(4)



【化 5】

構造式(5)



。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の定着部材と、該定着部材の加熱手段と、を備える電子写真用の定着装置。

【請求項 9】

前記定着部材が、エンドレスベルト形状を有する定着ベルトであり、前記加熱手段が、該定着ベルトの内周面に接して配置されているヒータを具備する請求項 8 に記載の定着装置。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の定着装置を備える電子写真画像形成装置。